

第2回まちづくり推進町民会議を開催

町政に意見・要望 ～ 学校給食や起業などに幅広く

平成24年度第2回まちづくり推進町民会議(山崎晴一議長)が10月22日(月)10:30から、美深町役場大会議室において開催され、委員20人と町理事者、各課長等あわせて32人が出席しました。同会議は、町内各団体や自治会からの推薦委員、公募委員の30人で構成される住民組織です。会議では、町側から第5次総合計画の初年度事業実績や、行政評価結果を説明。まちづくりに関する懇談では、委員から今後のまちづくりに関し、活発な意見が出されました。

▲会議であいさすする山崎議長



■ 会議の内容 ■

- (1) 山崎晴一議長あいさつ
- (2) 山口町長あいさつ
- (3) 第5次総合計画の平成23年度事業実績-①
- (4) 平成24年度(平成23年度事業)行政評価結果-②
- (5) まちづくりの推進についての懇談-③

① 第5次総合計画の平成23年度(初年度)事業実績報告

計画 28億7,591万円
実績 25億6,781万円

実績書の見方や総合計画書との関係などについて説明しました。

③ 出席委員からの主な質疑・意見

<質問>～学校給食の実施は美深高校も組み入れて「給食のある高校」を生徒募集の看板の一つとして活かしては。

【回答】～検討委員会でも出された議論。実施をすることも設備関係も出てくるので、一つの可能性として協議していく。

<質問>～美深町内において、AED(自動体外式除細動器)の設置箇所、台数は。子供用のAED設置は。心臓マッサージの訓練状況は。

【回答】～AEDはHPで14台と公表。子供用のものもあるが大人用でも使用可能。訓練は防災訓練や事業所でそれぞれ取り組まれている。

<質問>～「美深町地域新エネルギービジョン」の、現在の進捗状況は。

【回答】～自然エネ(太陽光など)、木質バイオマスと普及啓発の3つの柱で進めている。太陽光は子供の環境教育と併せて検討。木質系は運搬の経費など課題。省エネ啓発は来年以降進めたい。

<質問>～美深町ホームページは製作、管理、運営、データ管理等は企業に委託しているのか。フェイスブック、ツイッターの活用は。

【回答】～現システムはH14年導入、更新は職員が他業務と兼務で行っている。H24年度新システムへの更新作業中。フェイスブックやツイッターは慎重に考えたい。

<質問>～これからは企業誘致ではなく「起業誘致」という視点で「美深町」の資源(農産物や林業、自然環境など)を活かした誘致とそれらに対する支援を。

【回答】～制度的には以前から地域活性化補助金があり、活用がある。最近ではチーズなど個人事業者へ支援成果もある。H23年度からは起業家育成研修にも制度拡大、今後もより力を入れていきたい。

② 平成23年度事務事業事業行政評価結果を報告

美深町行政評価の実施に関する取扱要綱に基づき実施した美深町行政評価報告書について説明。

評価・検証の方法や経過、結果の概要及び活用方法などについて説明しました。

<質問>～資料は、数字だけではなく、具体的な数字も示していただけるとわかりやすい。

【回答】～次回会議以降は可能な限り対応し、わかりやすい会議に努める。

<質問>～公共工事の実施は、事業の重要性、緊急性を住民が理解できるように伝えてほしい。

【回答】～公共事業は国、道などさまざま行われているため見えづらい分もあるが一定の計画を持ち行っている。説明責任を果たし、安全・安心なまちづくりにつなげたい。

<質問>～防災情報端末について、もっと活用を。

【回答】～いろんな活用方法がある。多額の投資をしているので、メリットがあるよう進めていきたい。

<質問>～行政のスリム化により、職員の負担が増え、意欲を持って仕事をしたい状態か。

【回答】～町職員も意識改革しながら業務にあたっている。職員の取り組み方含め変えていくのもまちづくり。

<質問>～病院医師は専門外の診察を行っている状況。充実を期待。

【回答】～医師は派遣を受けながら対応している状況。医療の充実は難しい課題。



▲活発に意見を述べる委員